満鉄沿線案内

南満洲鉄道株式会社

満鉄沿線案内

洲鉄道株式会社

千山無量觀

遼陽の白塔

撫順炭礦露天堀

奉天北陵

安奉線

（蘇家屯から安東迄二六〇粁五）

この線は日露戰爭の際、我軍の手に依り敷設された輕便鐵道を、戰後、滿鐵が讓受けて改修したものである。汽車は、急行「ひかり」は新京を、其他は奉天を起點として蘇家屯から連京線と分れ、安東から朝鮮に入て釜山迄直通する。沿線は山谷溪流に富み、滿洲の木曾とも云ふべき佳境である。同時に日露戰役の古戰場として忘れてならぬ處が多い。又トンネルが二十六もあり、トンネル一つも無い連京線に比して特異の滿洲情景を見せる。

（火連寨） 附近有名な石炭岩の產地。これは昭和製鋼所の鎔劑となる。可憐な鈴蘭もこの邊に多い。

（本溪湖） 日滿合辦の本溪湖（製鐵所）煤鐵公司があり、撫順、鞍山と共に滿洲三鑛業都市の一。無煙炭及び鐵鑛が採れる。附近太子河の清流は舟遊に好く邦人行樂の地である。

（宮　原） 附近平頂山は日露役閑院宮殿下御奮戰の地として名高い。

（橋　頭） 附近細河の清流に沿ふて奇巖懸崖に富み、或は耶馬溪に、或は寢覺の床に似通ふ絕景は迭迎にいとまがない。名物は石細工、硯。

（連山關） 南方に日清日露兩役に名高い摩天嶺がある。

（祁家堡） 鴨綠江流域と、太子河（遼河）流域との分水嶺にある。嶺は海拔千二百六十餘尺。

（秋木莊） この附近線路の左右に、舊軍用輕便鐵道の跡が見え、日露戰爭の際、如何に皇軍が輸送に苦勞したかをありありと忍ばしめる。

（鷄冠山） 山谿に立つ町である。鐵道の開通に依て生れたものだ。

（鳳凰城） 安奉線中、安東に次ぐ都市である。驛の南半里の鳳凰山は、山形壯麗、紅葉を以て著れ、山中幾多の祠堂があり、千山、大和尙山と共に滿洲の名山である。

（高麗門） 史上著名な高勾麗時代の築城の跡、高麗城址は驛の西北二十町通稱高麗山にある。

（五龍背） 滿洲三溫泉の一たる五龍背溫泉は驛の直近く、泉質は無色透明のアルカリ性。湯崗子熊岳城とは又別の閑雅幽邃な溫泉場。靜養には最も適して居る。日清戰爭の時我軍が發見してから有名になつたもの。驛の北一里半の處に聳ゆる五龍山は、この沿線鳳凰山に次ぐ名山で、山容また雄偉その名にふさはしい。

（蛤蟆塘） 日露戰爭初期の激戰地として名高い同名の古戰場は驛の東北一里半の處にある。同じく九連城はこゝから東方四里餘。日露の滿洲に於ける第一回の陸戰地。こゝでの戰勝は其後の我軍の形勢を有利に導いた有力な原因として明治興國史上記念すべき地である。

（沙河鎭） 安東市街の北端にある。安東滿洲人街に近く、主として滿洲人貨客のために設けられた驛。

（安　東） 安奉線の終點である。奉天から二七五粁八、普通約八時間、急行五時間半で着く。鮮滿國境を流るゝ鴨綠江を隔てゝ、朝鮮の新義州と對する滿洲東邊の重鎭。大連、營口と共に南滿三港の一である。滿洲特產物の外、柞蠶及び木材の集散地として著名。又製材、製紙、柞蠶糸等の工業が盛である。木材は上流から筏で運ばれ、その筏流しの情緖は鴨綠江節に依て人口に噲炙して居る。市街は鴨綠江河口より上流十六浬の處にあり新市街（滿鐵附屬地）と舊市街（滿洲人街）とに大別される。新市街は日露戰爭當時に開拓されたもので、滿洲最初の日本人經營都市として特筆せねばならぬ。日本人約二萬九千、關東州外では奉天、新京に次ぐ邦人都市舊市街も歷史は餘り古くなく、清朝末期から發達したものである。鎭江山は新市街の背後にある小丘で眺望絕佳、殊に邦人の丹精に依て櫻樹が無數に植えられ、花時（四月末）の眺めは滿洲一の名に背かぬ。東洋一の鴨綠江鐵橋は安東新義州を結び、長さ三千九十八呎。時を定めて十字に開橋してゐた鐵橋も開閉を停止して不斷の日滿の交通路となつた。こゝは國境であるから旅客は日本側及滿洲國側のそれぞれ稅關の檢査を受けなければならぬが、携行品はそのまゝ座席で託送手荷物は驛ホームの檢査所でうけることになつてゐる。

旅順線

（周水子から旅順まで五〇粁八）

旅順線の汽車は大連を起點として周水子から連京線と分れる。

（夏家河子） 渤海灣に臨み、遠淺の海岸は滿鐵經營の絕好の海水浴場で、夏の賑ひは非常なもの魚釣にも好い。

（龍　頭） この附近から車窓左右に望む山々は、いづれも世界史上に特筆すべき、日露旅順包圍戰の戰跡ならざるなく、山上に碑の見えるのはその主なる激戰地である。

（旅　順） 旅順線の終點、大連から一時間餘で着く。關東州廳の所在地。市街は旅順灣をめぐつて舊市街と新市街に分れ、いづれも、落着いた靜かな町である。一帶に日露戰爭の戰跡であるが、主なるものは驛を出て直ぐ前の白玉山。表忠塔及び戰死者の納骨祠がある。灣の入口は軍神廣瀨中佐で名高い旅順港口、その東側が黃金山。舊市街を東北に拔けて遊覽道路を上れば東雞冠山北堡壘、今も堅固な築城の跡が殘り、當時を偲ぶに最もよい。北に望臺、一戸堡壘、盤

鴨緑江の筏(安東)

新京西公園

五龍背温泉

舊市街も歴史は餘り古くなく、清朝末期から發達したものである。鎭江山は新市街の背後にある小丘で眺望絶佳、殊に邦人の丹精に依て櫻樹が無數に植えられ、花時(四月末)の眺めは滿洲一の名に背かぬ。東洋一の鴨緑江鐵橋は安東新義州を結び、長さ三千九十八呎。時を定めて十字に開橋してゐた鐵橋も開閉を停止して不斷の日滿の交通路となつた。こゝは國境であるから旅客は日本側及滿洲國側のそれぞれ税關の檢査を受けなければならぬが、携行品はそのまゝ座席で託送手荷物は驛ホームの檢査所でうけることになつてゐる。

旅順線　(周水子から旅順まで五〇粁八)

旅順線の汽車は大連を起點として周水子から連京線と分れる。

(夏家河子)　渤海灣に臨み、遠淺の海岸は滿鐵經營の絶好の海水浴場で、夏の賑ひは非常なもの魚釣にも好い。

(龍　頭)　この附近から車窓左右に望む山々は、いづれも世界史上に特筆すべき、日露旅順包圍戰の戰跡ならざるなく、山上に碑の見えるのはその主なる激戰地である。

(旅　順)　旅順線の終點、大連から一時間餘で着く。關東州廳の所在地。市街は旅順灣をめぐつて舊市街と新市街に分れ、いづれも、落着いた靜かな町である。一帶に日露戰爭の戰跡であるが、主なるものは驛を出て直ぐ前の白玉山。表忠塔及び戰死者の納骨祠がある。灣の入口は軍神廣瀨中佐で名高い旅順港口、その東側が黄金山。舊市街を東北に拔けて遊覽道路を上れば東雞冠山北堡壘、今も堅固な築城の跡が殘り、當時を偲ぶに最もよい。北に望臺、一戸堡壘、盤龍山、二龍山、松樹山各砲臺の跡がある。これらの戰跡の概念を得るためには、戰利記念館(舊市街)を參觀するに限る。二〇三高地(爾靈山)は新市街の背後にある。乃木、ステッセル兩將軍會見の水師營へは、新市街の背後一里二十町。いづれも車馬の便がある。關東州廳博物館は新市街にあり、東洋文化の跡を觀るべき貴重の資料が豊富である。尙旅順大連間は、鐵道と別に環狀自動車道路があり、普通には海岸を縫ふ南道路が選ばれてゐる。

營口線　(大石橋から營口まで二二粁四)

(營　口)　遼河河口に近く滿洲最初の開港場である。外國人は牛莊と呼ぶが、牛莊はこれよりやゝ上流の都城である。大連港の出來るまでは滿洲唯一の海港として繁昌したが大連の躍進と共にさびれた。然し沿岸貿易額に於ては三港の首位を下らない。對岸は滿洲國有鐵道河北線の河北驛、連絡船の便宜がある。營口は新開地のため名所舊跡に乏しいが、驛附近は日露役の際、我軍が露國のミッチエンコ軍を撃退した戰跡である。

撫順線　(渾河から撫順まで四八粁二)

撫順線の汽車は奉天を起點として渾河から連京線に分れる。

(撫　順)　奉天から一時間餘りで着く。滿洲一の炭都である。日露戰爭の結果、この炭礦が日本の手に歸し、滿鐵會社成立と共にその經營に移つてから、やうやく開けた町である。撫順炭礦は、鞍山の昭和製鋼所と共に、我國經濟及び國防上の至寶であり、燃料問題解決上逸してならぬところである。礦區は東西一六粁、南北四粁、面積六萬平方粁、石炭埋藏量、約九億五千噸。採炭は坑内掘と、露天掘に分れる。就中露天掘(古城子)はその規模の雄大に於て世界無比。撫順名物たるのみならずまさに滿洲の誇である。炭層の上を覆ふ油母頁岩(オイルセール)は撫順獨特の發明により乾餾して重油を採り、パラフイン、硫安等の副産物まで出來ることになつて最近俄に重大價値を生じた。頁岩埋藏量は五十四億噸であるから我國重油供給上實に力強き資源と云はねばならぬ。その製油工場は既に第一期計畫を完成し、目下年額六萬八千瓩の重油を産出しつゝある。炭都附屬地の人口約八萬七千、内日本人約二萬六千、名産に石炭細工琥珀製品がある。

左記に於て**朝鮮、滿洲に關する**旅行通關貨物等の御質問並びに事情講演活動寫眞映畫のお需めに應じます。

東京鮮滿案內所	丸の內ビルデイング內	電丸ノ內　自三一三一至三一三五
大阪鮮滿案內所	東區堺筋安土町	電本町　一七〇〇・一七〇一
門司鮮滿案內所	門司市西海岸通	電　二四七七
下關鮮滿案內所	下關驛前	電　一九六二

昭和十一年七月二十日印刷
昭和十一年七月二十五日發行
●發行人　大連市伏見町十　宇佐美喬爾
●著作人　大連市初音町十三　加藤郁哉
●發行所　大連市東公園町三一　滿鐵鐵道部旅客課
●印刷人　大連市紀伊町八五　河島成光
●印刷所　大連市紀伊町八五　細谷眞美館
三〇・〇〇〇

大陸の王者・特急「あじあ」

滿洲の海の玄關・大連港

滿洲の概念

【昭和十一年版】

（本項の數字中特に記したるものゝ他は總て昭和七年度調に據る）

（面積） 百三十萬三千平方粁 （日本の面積六十七萬五千平方粁） （昭和九年調）

（人口） 三千百萬人 （日本の人口九千余萬人） （昭和九年調）

（耕地） 可耕地 三千三百七十萬陌
既耕地 一千五百九十萬陌
未耕地 一千七百八十萬陌 （昭和九年調）

（製鹽） 四十五萬瓲（内關東州二十二萬五千瓲）（日本内地の製鹽高九十三萬五千瓲）

（鐵鑛） 埋藏量 十二億二千萬瓲 （日本の埋藏量六千萬瓲）

（石炭） 埋藏量 四十八億四百萬瓲 （日本の埋藏量五十九億瓲）

（林產） 森林蓄積量（熱河省を除く） 百五十億五千萬石 （日本の蓄積量八十七億一千一百萬石）

（家畜） 一千八百七十萬頭 （熱河省を除く）

（農產） 穀物收穫高 一千三百四十三萬瓲 （内大豆三百六十萬瓲）

（貿易） 昭和九年度貿易總額 十億四千二百萬圓 （内輸出額四億四千八百萬圓）

（投資） 滿鐵資本金八億圓
列國の對滿投資額（滿洲事變前） 二十四億二千六百萬圓（内日本十七億六千萬圓）

（鐵道） 滿洲國内鐵道總粁數八千三百粁（内滿鐵線千百粁、滿洲國有鐵道六千八百粁、其他三百粁） （昭和十年十二月調）

（地勢） 山は東部朝鮮との境界地方に長白山脈、黑龍江省の北部から興安省へかけて興安嶺山脈、この二つが主なるもので、その間が所謂滿洲の大平野である。河は長白山から出て南に鴨綠江、北に圖們江これは鮮滿國境をなして居る。東蒙古から出て奉天省の略中部を流れ渤海に注ぐ遼河、長白山から出て吉林省の中部を流れ黑龍江に入る松花江、この二つは滿洲の經濟發展に重要な貢獻をして居る。北部シベリヤとの境に世界有數の大河黑龍江がある。

（氣候） 氣温は南部關東州附近は略、我北海道、東北地方と大差無く割合に凌ぎ好い。北部新京から北になると、夏はそれ程でもないが冬は零下三十度以下に下る時もあり所謂酷寒であるが、大陸特有の三寒四温があるので、冬季でも割合にしのぎ易い。雨は全滿を通じて夏季七八月の頃は相當降るが、其他の季節、殊に冬は殆んど降らぬ。雪も寒い割合には少ない。然し概して滿洲の氣候は日本人の健康には悪い方ではない。

滿鐵沿線案内

高脚踊

金州城門

大石橋迷鎮山の

河（營口埠頭）

滿鐵沿線案內

滿鐵線は、大連新京時七〇一粁四の連京線、安東蘇家屯間二六〇粁二の安奉線、周水子旅順間五〇粁八の旅順線、大石橋營口間二二粁四の營口線、渾河撫順間四八粁二の撫順線等（外に煙臺線一五粁六）から成り、殆んど南滿洲の經濟竝に文化の中心を通つて居る。

連　京　線

（大連から新京まで七〇一粁四）

（大　連）　大連は極東に於ける自由港で、新興滿洲帝國の大玄關である。何よりもその埠頭の規模と設備が東洋一であることを見逃してはならぬ。一年の貿易額約六億圓。市街はロシア式雄大に、日本式巧緻を施せるもの、大廣場はその中心、町の大觀を見るには中央公園の遊覽道路が好適である。埠頭と同時に誇るべき苦力收容所碧山莊も忘れてはならぬ。滿洲資源館（兒玉町）は滿蒙全般の物產、資源、工業等を一目で知ることが出來るから旅行者の是非とも參觀すべき所である。モダン大連の偉觀たる連鎖商店街は、日本にも無い大商場、日滿共存共榮の具體化した情景を見るべく夜の浪速町も棄てられない。郊外星ケ浦の明るく朗らかな海陸の眺めは到底日本內地では見られない。

油房は滿洲名物の特產大豆を搾つて、大豆油と、豆粕とを造る工場。大連は哈爾濱、營口と共に油房工業の盛な土地であるから、市の東部（寺兒溝方面）と西部（小崗子方面）にはこの工場が多い。日本人の經營する油房（日清、三泰等）は模範的である。

大連の人口約三十七萬七千人、內日本人約十四萬人、滿洲支那を通じて日本人の最も多く住んでゐる都會である。

（沙河口）　大連市の西部、驛に近く滿鐵の鐵道工場（汽車工場）がある。滿鐵はもとより滿洲國諸鐵道の汽車製造、修理を引受けて居る。

（周水子）　旅順線への分岐點。日本及滿洲航空會社の大連發著場、滿洲に於ける唯一のセメント製造所小野田セメント工場がある。

（南關嶺）　撫順の石炭はこゝから大連の對岸甘井子埠頭に送られて輸出される。甘井子埠頭は大連港の附屬、世界有數の電力によるモダンな石炭棧橋がある。

（金　州）　關東州に於ける最も大きな滿洲人街。城壁も立派に殘つて居る。日露戰爭の際、わが奧大將の奮戰地「南山」は驛の南方間近の丘。東北に聳ゆるは遼東一の名峰大和尙山。滿洲が張政府の惡政下にあつた頃、日本治下にある都市の如何に和平であるかを物語る例として、この金州は常に視察された。孔子の廟、その他天齊廟の地獄極樂等見るべきものが多い。

（二十里臺）　驛西約二里、愛川村は渤海に濱する邦人最初の純移住農村である。

（三十里堡）　有名な滿洲林檎の名產地。附近一帶擴大な果樹園の連なりが眼を惹く。

（石　河）　附近鑿子山上に明代倭寇に備へた烽火臺の遺跡がある。

（普蘭店）　關東州最北の都會、製鹽業に著名である。車窓から巒山が見える。こゝから北十一粁で關東州外に出る。

（瓦房店）　西方復州城との交通の要衝。

（得利寺）　日露役の激戰地。

（松　樹）　附近水稻栽培によく、有名な松樹米はこゝから。

（九　寨）　この邊から汽車は山谷を離れて、渤海沿岸の南滿洲大平野に入る。

（熊岳城）　驛に入る前に熊岳河を渡る。左窓に見える城は古來渤海の重鎭とされた熊岳城。驛の東方三十町の處に溫泉がある。滿洲三溫泉の一で、泉質はアルカリ性。旅館に內湯、河原に砂湯があり、特に砂湯には四季を通じて入浴出來るモダンな浴場が建てられてゐる。滿鐵の農事試驗場分場は園藝、養蠶、林產の改良研究をして居る。驛の北に聳ゆる奇岩は望小山。京に上つた一子の歸りを每日此岩の上で待ち暮し、ついに悶死したと云ふ寡婦の傳說がいまも殘つて居る。名物は林檎、紅梨。

（蓋　平）　柞蠶、絹紬の有名な市場。又海岸は、製鹽が盛で次驛（太平山）と共に蓋平鹽の主產地である。

（大石橋）　營口線の分岐點。附近、有名な輕金屬鑛物マグネサイト（菱苦土鑛）及び滑石（タルク）の產地。驛の南方里餘の迷鎭山にある娘々廟は、滿洲年中行事の隨一たる娘々祭（舊曆四月十六、七、八日）で數萬の婦人を山を集めるので天下に知られて居る。

（分　水）　こゝから北に汽車は渤海沿岸の平野を離れて、愈々南滿洲大平野の中心たる遼河流域に入る。

（海　城）　遼代海州の地。附近、析木城、岫巖等日露役の古戰場が多い。城內は相當賑やかな滿人都市である。

（湯崗子）　溫泉の設備は滿洲一。唐の大宗高勾麗遠征の砌、軍兵の創痍をこゝで治癒したと云ふから、まさに滿洲最古の溫泉で又滿洲國の誕生に當つては、執政晴れの新京入りに休息された處として有名である。無色透明のアルカリラヂウム泉。旅塵を洗ふにはもつてこいである。東方に約四里、美はしい山相を見せる千山は、滿洲第一の靈場。樹木茂り山中奇巖怪石に富み、その間に有名な五大禪寺と二十三道觀とがある。佛敎と道敎との兩道場であるが、むしろ道敎

大石橋迷鎮山の[illegible]

遼　河（營口埠頭）

海城の魁星樓

湯崗子温泉

鞍山昭和製鋼所

（瓦房店） 西方復州城との交通の要衝。

（得利寺） 日露役の激戰地。

（松　樹） 附近水稻栽培によく、有名な松樹米はこゝから。

（九　寨） この邊から汽車は山谷を離れて、渤海沿岸の南滿洲大平野に入る。

（熊岳城） 驛に入る前に熊岳河を渡る。左窓に見える城は古來渤海の重鎭とされた熊岳城。驛の東方三十町の處に温泉がある。滿洲三温泉の一で、泉質はアルカリ性。旅館に內湯、河原に砂湯があり、特に砂湯には四季を通じて入浴出來るモダンな浴場が建てられてゐる。滿鐵の農事試驗場分場は園藝、養蠶、林產の改良研究をして居る。驛の北に聳ゆる奇岩は望小山。京に上つた一子の歸りを毎日此岩の上で待ち暮し、ついに悶死したと云ふ寡婦の傳說がいまも殘つて居る。名物は林檎、紅梨。

（蓋　平） 柞蠶、絹紬の有名な市場。又海岸は、製鹽が盛で次驛（太平山）と共に蓋平鹽の主產地である。

（大石橋） 營口線の分岐點。附近、有名な輕金屬鑛物マグネサイト（菱苦土鑛）及び滑石（タルク）の產地。驛の南方里餘の迷鎭山にある娘々廟は、滿洲年中行事の隨一たる娘々祭（舊曆四月十六、七、八日）で數萬の婦人を山を集めるので天下に知られて居る。

（分　水） こゝから北に汽車は渤海沿岸の平野を離れて、愈々南滿洲大平野の中心たる遼河流域に入る。

（海　城） 遼代海州の地。附近、析木城、岫巖等日露役の古戰場が多い。城內は相當賑やかな滿人都市である。

（湯崗子） 温泉の設備は滿洲一。唐の大宗高勾麗遠征の砌、軍兵の創痍をこゝで治癒したと云ふから、まさに滿洲最古の温泉で又滿洲國の誕生に當つては、執政晴れの新京入りに休息された處として有名である。無色透明のアルカリラヂウム泉。旅塵を洗ふにはもつてこいである。東方に約四里、美はしい山相を見せる千山は、滿洲第一の靈場。樹木茂り山中奇巖怪石に富み、その間に有名な五大禪寺と二十三道觀とがある。佛敎と道敎との兩道場であるが、むしろ道敎の方が盛に見える。こゝに行くには日程に餘裕があれば湯崗子から往復する方が面白いが、急ぐ場合は鞍山から運礦電車に便乘して大孤山まで行き、そこから步くのが早い。

（鞍　山） 鐵の都である。鐵鑛は、湯崗子附近から鞍山へかけての一帶の山にある（埋藏量六億噸餘）。昭和製鋼所は、滿鐵の傍系會社。將來製鋼一貫作業に邁進すべく旺んな業態を示してゐる。目下銑鐵一箇年三十餘萬トンを生產して居るが將來は百萬トンの計畫である。こゝに特記すべきは獨特の貧鑛處理法であつて、當初此地方の礦石は含有鐵分少く採算に不利であつたが磁力選鑛法の發明により、含有鐵分多き富鑛同樣の採算をなし得るに至つた。この鐵が我國の鋼鐵自給上重要な使命を持つことは言ふまでもない。

（首　山） 驛の東二十六町、有名な軍神橘中佐戰死の地。橘山の戰蹟碑が車窓右手に望まれる。

（遼　陽） 滿洲最古の都。白塔は漢代の建立にかゝる廣佑寺の遺跡にあり、八角十三層の磚製である。平野の中に屹立するその灰白色の姿は、殊に遠望に於て、一種の滿洲情緖をそゝる。

（煙　臺） 滿鐵經營の煙臺炭坑がある。

（蘇家屯） 安奉線の分岐點。

（渾　河） 撫順線の分岐點。

（奉　天） 大連から三九六粁六、特急「あじあ」で約四時間半、奉天を中心として南北に滿鐵線、東北に奉吉線、東に安奉線、西に奉山線の各鐵道が集り交通の要衝となつてゐる。滿洲國々有鐵道の委託經營にあたる滿鐵の鐵路總局もこゝにある。奉天は滿洲事變までは瀋陽の故名により、張學良が東北四省の覇權を握つた土地、滿洲國の創建となつて首都は新京に移つたが、南滿洲に於ける交通、工業、經濟、敎育の中心地である。附屬地は滿鐵の經營で、大連に次ぐモダン都市。商埠地は、外國人の居住營業に開放したもの、城內は滿人街で、大觀を見るには城內吉順絲房のルーフが好い。城內には滿洲側各官廳の外淸朝時代の宮殿がある。城外には北に北陵、東に東陵。何れも淸朝の古陵墓。その雄大華麗は滿洲隨一の名所として見逃してならない。近くて便利な點から北陵に行くのが普通である。其他喇嘛寺、喇嘛塔など名物が少くない。人口は約五十三萬、內日本人七萬五百を算してゐる。

（鐵　嶺） 鐵道開通前まで遼河の水運に依り、穀類の集散地として繁榮したところ、今も鐵嶺綿布の名は廣く知られてゐる。驛の東約一里の龍首山は、眺望絕佳、日滿人の遊園地として名高い。

（平頂堡） この附近左窓、畑中に通ふ白帆は遼河の戎克である。

（開　原） 鐵道開通後鐵嶺の繁榮を奪つて穀類の集散地となつた經濟都市で、滿洲特產大豆の都としての地盤は動かせぬ。こゝから東方東豐へ開豐輕便鐵道が通じてゐる。

（昌　圖） 驛の西南高地は日露役に於ける我滿洲軍最終の陣地。

（泉　頭） 驛の南半里、西沙河子は日露役の最後に、我が福島少將と露軍のオラノウスキー少將とが、休戰條約を締結した記念すべき地である。

（四平街） 國有鐵道平齊線はこゝから西方內蒙古を過ぎ齊々哈爾へ。更に齊北濱北の兩線となり北滿の穀倉を圍みつゝ哈爾濱に達してゐる。四平街は鐵道に依つて發達した新興都市で特產物の中繼並に集散地である。

（公主嶺） 南北滿洲の分水界をなす地點。卽ちこゝを境として、南流する水は遼河により渤海へ北流する水は松花江から黑龍江を經て、日本海に注ぐ。こゝには滿鐵の農事試驗場がある。滿蒙特產物の改良試驗に、馬牛緬羊豚等の改良に盡して居る功績は偉大である。

（新　京） 滿洲國の首都で、滿鐵線の終點。大連から七〇一粁四特急「あじあ」は八時間半で着く北は京濱線によつて哈爾濱（二四〇粁、約八時間）に、東は京圖線によつて北鮮、羅津、淸津に通じ、日本海を通じて日滿の捷徑となり、西は京白線によつて、扶餘、大賚を經て、白城子にて平齊、白溫の二線に合してゐる。

古くから中部滿洲第一の經濟都市で、殊に特產物の大集散地、冬期に於ける南下北滿貨物の積換は壯觀を極める。人口約二十四萬七千、內日本人約五萬二千。國都建設は旣成都市を基礎として人口百萬の國都區域內に、旣に獨自の滿洲色を發揮しつゝ著々進捗を示し、異常な國都景氣を市中に沸騰せしめつゝある。吉林は京圖線の主要都市として風光明媚滿洲古都の情趣を備へ、日本人は滿洲の京都と稱して日歸り遊覽するものが多い。